

地域密着型金融の取組み状況（平成21年4月～平成22年3月）

○ 地域密着型金融の取組み状況

地域密着型金融とは、金融機関が顧客との間で親密な関係を長く維持することにより、顧客に関する情報を蓄積し、この情報を基に貸出金の金融サービスの提供を行うことで展開するビジネスモデルであります。

地域限定で営業を展開している当組合にとって、地域が活性化され、元気になるために、適切な金融仲介機能を継続的にタイムリーに発揮することが期待されていると認識しており、そのために、継続的な訪問活動を通じた地域情報の収集と個々の利用者の定性情報の把握を含めた日常のコミュニケーションによる、お客様との関係作りが大切であると考えています。

地域密着金融の推進は、協同組織の金融機関である当組合にとって最も重要な使命と考えており、地域密着型金融の取組みを通じ、中小企業向け金融の担い手として地域経済活性化のために尽力してまいります。

地域密着型金融の取組み方針及び地域貢献の状況や各種施策の進捗状況については、積極的に情報開示・公表する予定であります。

○ 具体的な取組みの重点事項

【 重点事項 】

- 1 ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化
- 2 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
- 3 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

1 ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1) 創業・新事業支援の取組み

創業・新事業の支援を目的としたローンの平成22年3月末の利用実績は、26件、489百万円（うち制度融資6件19百万円）となっており、平成22年度も継続して推進してまいります。

(2) 経営改善支援の取組み

平成21年4月～平成22年3月

期初 債務者数	うち 経営改善支援 取組み先数			経営改善支援 取組み率	ランク アップ率	再生計画 策定率	
	α のうち期末に 債務者区分が ランクアップ した先数	β	γ				δ
A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α
491	60	3	52	53	12.2%	5.0%	88.3%

- (注) 1. 本表の「債務者数」、「先数」は、正常先を除く計数です。
2. 期初債務者数は、平成21年4月当初の債務者数です。
3. 債務者数、経営改善支援取組み先数は、取引先企業（個人事業主を含む）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先は含んでおりません。
4. 「 α （アルファ）のうち期末に債務者区分がランクアップした先数 β （ベータ）」は、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先です。なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者は、 α に含みますが β には含んでおりません。
5. 「 α のうち期末に債務者区分が変化しなかった先 γ （ガンマ）」は、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先です。
6. 「 α のうち再生企画を策定した先数 δ （デルタ）」は、 α のうち中小企業再生支援協議会の再生計画策定先、RCCの支援決定先、当組合独自の再生計画策定先の合計先数です。
7. 期中に新たに取引を開始した取引先は、本表に含みません。

- ① 経営改善の支援対象を60先選定（前年度34先）し、経営改善支援委員会が、経営者・税理士・営業店と十分連携・協議し、改善の方策を検討しました。また、対象先の企業診断書を作成し、営業店において取引先に対するアドバイスを実施しました。
- ② 対象先企業への職員派遣による経営改善を行っています。
- ③ 販路拡大、業務委託、工事の受注等の企業間の業務上のビジネスニーズをマッチングさせた平成21年度実績は6件です。平成22年度も継続して取り組んでまいります。

(3) 事業再生支援

広島県中小企業再生支援協議会等、他機関との連携による事業再生に取り組んでおり、平成22年度も継続して取り組んでまいります。

(4) 事業継承

最も身近な金融機関として、相続・事業継承等の相談、経営指導、幅広い情報提供などの取引先企業のニーズに取り組んでいます。

2 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

(1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取り組み

平成20年から取扱っている「水軍ローン」のほか、利用者満足度アンケート調査の実施などにより、地域の特性や利用者ニーズを踏まえた無担保ローンとして、平成21年9月に「青果組合員特別資金」、同11月「商売安定」の取扱いを開始しました。平成22年3月末利用実績は、3商品合計で97件、635百万円となっており、平成22年度も継続して推進してまいります。

(2) 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力など、人材育成への取組み。

取引先企業との日常的なコミュニケーションを活用した目利き機能の向上を図ることによって、取引先の将来性、技術力を的確に評価できるよう取組んでいます。

また、人材育成への積極的な取組みとして、中国ブロック信用組合協議会が主催する次の研修に参加しました。

- ① 目利き（財務・企業分析基礎）研修 （平成 21 年 4 月）
- ② 融資査定診断士育成研修 （平成 21 年 5 月）
- ③ 企業再生支援研修 （平成 21 年 5 月）
- ④ リスク管理研修 （平成 21 年 6 月）
- ⑤ 企業支援ランクアップ研修 （平成 21 年 7 月）
- ⑥ 渉外管理者レベルアップ研修 （平成 21 年 9 月） 他

3 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な面的再生への取組み。

地域特定産業を対象とした融資や、クレジットや消費者金融等の借入をまとめて借換えするローンなど目的別ローンの活用を図り、地域の中小零細企業や個人の皆様の幅広い資金ニーズに応えることにより、地域社会への貢献を図る取組みを継続してまいります。

(2) 各種団体との連携強化および地域の活性化

① スポーツ振興事業

平成 20 年から、広島県内の経済活性化の一助として、地域スポーツ振興を図るため、お客様にとって金利の有利な「サンフレッチェ広島応援定期」を発売しています。当組合は、サンフレッチェ広島とスポンサー契約を締結し、チーム強化費を贈呈するなど“広島を元気にする”取組みの一環として広島のスポーツ振興を図っています。

② 地域行事への参加

三原やっさ祭り、因島水軍まつり、熊野筆まつりなど、地域行事に積極的に参加しています。

③ 文化事業

(財)けんしん育英文化振興財団は昭和58年に設立され、以来「奨学金の貸与事業」ならびに「文化活動に対する助成事業」を目的として活動し、県民文化奨励賞を贈呈し、地域の文化事業の貢献に取り組んでいます。

④ 福祉事業

ケンシン献血会として、毎年一回、役職員一同の参加による献血を実施しています。